

☆神戸の集いから



★第九回兵庫県写真作家協会展 記念パーティ

全国的に特異な作家の集りで知られている兵庫県写真作家協会は、毎年の東京展を会場難のため中断していたが、昨年より神戸展を復活、本年は八月十九日〜廿三日迄そうこうにおいて開催した。今迄大紙サイズに統一されていたが本年より自由となり、大型サイズの作品が目立った。本年度協会賞は緒方しげを(ぐるっぴひょうたん、黒影会)の「晩刻」、河合一(「フォトアルバム」)の「都会」。これは丸本明子の詩と合作。平岡徳太郎(光栄会)の「夏」が獲得。この祝賀をかねての記念パーティが八月廿一日神戸のスカイサントリイで行われた。二年連続受賞緒方氏の「来年は骨まで載きます」とのあつかましいあいさつに始まって、堀内初太郎(代表委員)、土屋幹男、菅原弘男、竹崎崎司、川上進、佐々木たかし(ぐるっぴひょうたん)、妻鹿圭男、大野ユタカ(白光クラブ)、木矢芳太郎(「昨年度協会賞」、古田一忠(「阪神写真家集団」)森川列、玉井保(神戸新聞)、西村秀男、沢田幸男、胡屋茂、松本恭一、宗虎亮、藤田重夫、中山巖、など多数の出席ありなごやかに歓談最後に兵庫県写真界の発展を祈り閉会した。



★一九六六年「8の会」・集いの夕べ

八月二十七日の夕暮れ、御影小原流家元館のグリーンに、京阪神の文化人約二〇〇人が「8の会」に集まった。
例年通りサントリービールの肝入りで、生ビールの片手に、吉原製油提供のゴチソウでの交遊会は、ジョーッスタイルの竹中郁氏が元氣いっぱいの司会。進行役の藤本義一氏は「8の会」のために、女性七人の腕に小磯良平氏、津高和一氏、早川良雄氏、松岡寛一氏、ほか七人がマジックペンで筆をふるい、腕にいれずみを描くという一戦。またエレキバンドで元永定正氏、竹田洋太郎氏、中辻悦子さん、津高氏、向井修二氏などが、モンキーダンスや、インディアン踊りを披露。小原豊雲氏の民謡もなかなか味のある唄で客席は沸いた。祝賀芸術といふ短編映画を観て散会。他の出席者には白川渥ご夫妻、小磯良平夫人、朝日奈隆氏、吉原治良氏、富田碎花氏、田辺聖子さん、赤尾兜子氏、西村雅司氏、白髪一雄氏、山路粹さん。坂本勝比古氏など多彩な顔ぶれであった。



★安水稔和詩集(八やってくる者)を媒体として現代詩を考える夕開

神戸のユニークな詩人安水稔和氏が十年間の、今までに刊行された詩集よりこぼれた詩を集めた(八やってくる者)を発刊。詩集出版記念をかねて現代詩を考える夕が三宮ビル10階小ホールで開かれた。
当日詩集を片手に集まった人々は約五十人。開会までの間、安水稔和作詞による合唱曲「京都」「鳥」をテープ録音でバックミュージックが流れた。一分間、三分間、七分間と区切られた短時間に、「現代詩論」と「安水稔和論」が、さまざまな観点から飛び出した。切りつめられた時間のなかで、五十人の人々がそれぞれ発言して、独自の見解をのべるプログラムは、それなりに簡潔な面白さがあった。マジメな詩人にふさわしい集いになった。なかでも松原新一氏の「文学がマスコムニケイ」で、広い支持層を得て、かえって荒れた形になった。詩はいまだに限られた支持層だが純度の高い読者をもっており、また詩人もまだ働きが多いけれど密度の高い詩が多い。現代の詩人は幸福な時点にあると思う」とのべたのが印象的だった。要望によって「海へ」を朗読した安水氏は大変楽しげだ。港野喜代子さんの即興詩で幕。



CINEMA ③

男たち

淀川 長治

〈映画評論家〉

★裸のジャングル

見逃されそうな題名だが、これは面白い。コーネル・ワイルドという古いスタアが、いつのまにか監督になってこれはその彼の製作・監督・主演作品百年まえのアフリカの象牙商人物語。

かかる人たちのことをトレダー・ホーンと呼ぶ。数人の白人が土人をつれてアフリカの奥深く象狩りに行く。途中ある部落の土人数名が現われ、この地で狩りをやるなら、何か御礼に品物を置いて行けという。隊長は慾深かでこれを頭としてはねつける。そのとき白人の一人がそれは危険だと注意したが

聞きいれない。やがて土人の襲来。白人はじめおともの土人もみなごろし。その殺しかたが凄い。白人の一人は鼻の穴と口に竹の筒を突き刺さされ全身を泥で塗りこめられ、泥がかわいたところを見はからって火にあぶって殺してしまう。口と鼻に竹の筒をさしこまれているのでこの白人は焼かれるまぎわまで呼吸していたわけであるが全身は泥のかたまりである。もう一

人はからだぢゅうに鳥の羽根をつけられ両手両足をしばり、竹を横にしたのを両手のしばられたうしろにさしこんでビョンビョンと走らせ、やがて走り疲れたところで五十数人の土人の女が竹槍で突き殺す。また別の一人は頭を獣の皮紐でしばり、目の前に火を燃やし、皮紐がぐんぐんちまって頭をしめつけるのを見はからって、火の中に毒蛇を投げこんで、その毒蛇の逃げぐちが、頭をしめつけられて苦しんでいる白人の男の顔のところになるよう仕組み、火の中を逃げた蛇はかま首もち上げガブリと白人の顔に噛みついた。

さてこの土人たちと最も勇敢に戦った一人の白人。これは普通の殺し方ではつまらない。それで「ライオン」という名のなぶり殺しをする。全裸にして一定の距離の所に立たせ、かけ声ひとつでその白人を走らせ四方八方から土人が槍と弓と刀でこれを追って殺す。全裸にしたとき一人の土人がその白人の指の指輪を抜きとろうとして抜けないので指を刀で切り落そうとす





る。しかしそれよりも「ライオン」にして追って殺してからその指輪を取るほうが楽しいということで、その白人は指を切られぬまま走らされる。この映画はそれからこの全裸の男が逃げて逃げて逃げて森で蛇を手掴みで取って生皮むいて食って逃げて逃げて……その逃げる道中がこの映画の殆んど全巻。男というものが、こんなに強い……という映画。白人の女はひとりも出てきません。だからこの男、強かったのかどうか。映画はほとんどアフリカ・ロケ。色彩一時間三十五分。パラマウント映画。

★バンボーレ

これは男も、そうとうイヤラシイという映画。バンボーレとは「カワイ子ちゃん」で、ここではその恐るべきカワイ子ちゃん(女性)に対する男の生態。第一部「電話」イタリアではサラリーマンのランチタイムはおひるからなんと四時まで。夏のときだからかもしれない。この時間を使って新婚の旦那が奥さん(ビルナ・リージ)とよいことしようとしたが妻君のママから電話、これがあんまり長い電話。ついに旦那は向いの家の女の子とよいこととして帰ってきたのに、まだ電話で妻君はママと話し中。第二話「優生学理論」スエーデンの女(エルケ・ソマー)がイタリアに来て愛だの恋だのでなく本当に丈夫な肉体条件百点の男でしかも美男子によって子供を一人つくる。もちろ

ん結婚などしない。一人だけそんな立派な種をつくりたい。そう聞かされてそんな男めざしつぎつぎとその女と男さがしに忙し顔のまづい体格の貧弱なタクシーの運転ちゃんが……けっきょくこのスエーデン女に五人の子供を生ませてしまうことになるお話。男の魅力というものもいろんなところにあるものらしい。第三話「スープ」妻(モニカ・ビッティ)は美人で良人はひどく年上でまづい顔。いつもスープを音たてて吸うのがたまらない。妻君はヘソクリもできたので、いつその亭主を殺そうとつぎつぎと愛人にたのんで殺させるがすべて失敗。はては本職の殺し屋にたのんだがこれも失敗。

その費用にヘソクリも使いはたし今はあきらめスープの音を立てている亭主の顔を見てため息。第四話「神父」ローマに来た神父の甥(ジャン・ソレル)に一目惚れしたホテルの女主人(ジナ・ロブリジータ)あの手この手で誘うがこの童貞男すこしもピンとこない。そこで女は神父に夜な夜なあなたの甥がいやらしいことばかりしに来ますと泣いて訴えて、そのいやらしいことを、ことこまかに説明。これを怒った神父が甥にそのいやらしいことをことこまかに聞かした。いつのまにか甥はそのいやらしいことにひどく興味を抱き、ついに彼はそれを実行してしまいました。



—五月十九日・午前七時の朝まだき—

新鋭貨物船アズマ号(M/S AZUMA)は、一万三千トンの巨体をコペンハーゲン港に静かにすべりこませている。この美しい北欧の伝説の国デンマークの首都コペンハーゲンは、うすぐもりで寒かったが折から桜の満開で長旅を終えたクルーの目には、こよなくもなつかしい故国の姿であった。埠頭には出迎えの家族でにぎわっていたが、この新造船は日本の三井造船玉野工場生まれ、日本をスタート、晴れの処女航海にのぼり初のお国入り

KOBE'S SHIP LOUNGE 3

足長おじさん

AZUMA号《スウェーデン貨物船》

キャプテン・オレ・ニスレブ

安波 馨<ギャランティ・エンジニア>

きく人／王奥 章
カメラ／浜岡 収

となった次第。アズマ号の名前も日本調だが、本船の所有者である THE EAST ASIATIC Co. LTD. の、持ち船の名前にはすべてAからはじまってAに終わるように命名しているそう。ちなみに僚船の名前をみると「ASMARA」「ANDORRA」「ANCONA」という調子である。

「今年の三月にできあがり、一航海終ったところですよ。日本には何度も来ましたが、最初にきたのは三十八才の時だったね。日本はいつきても美しいですね。神戸

は特にいいように私は思いますよ」あわいブルーの瞳は人なつこく、柔和な笑顔について魅せられるこの人——キャプテン・オレ・ニスレブ (Capt. OLE B. NISLEV) 四十七才は、ラフなスタイルで終始気取らない。十六才の時普通の高校を卒業して海員養成の訓練学校に入校し、さつそく船に乗りこんで訓練を受けて以来、三十一年間の海上生活である。「私は全くのラッキーで、世界各国をみてまわれるのが唯一の楽しみでね。」短い回答だけが私にかえってくるだけで、後はニコニコ顔。これじや記事にならんあと思った時、「本船には日本人のエンジニアがのりこんでいるので、今彼をよんでいる。彼からいろいろと聞くとおもしろいよ」これで彼の無口な理由がわかる気がした。キャプテン・ニスレブは日本人のエンジニアに花をもたせようとしているらしいのだ。ほどなくして作業服姿の日本の青年がキャプテンルームにあらわれた。安波馨さんという三十四才の好漢である。なぜ彼がこのア号に乗組んでいるのか——話はこうだ。

三井造船では外国船を作りあげると、ギャランティ・エンジニア・システムをとるが、これは新造船はとくくトラブルが多い。この調整役として必ず一人乗船させてそのアフターケアに心がけるといふ。ギャランティ・エンジニア・システムは新しい職種の分野だけになかなかたいへんで、言語・生活環境・人情・習慣のすべてが違い、また船という隔絶された世界の中で、黙々と機械に取組まねばならないというのはなみたいていのことではない。ノイローゼになる人もあるというほど神経をすりへらす激務である。「キャプテンがとつてもヒューマンな方ですからね。実に楽しい日々でした。ホームシックなんてかかりませんでした」「ミスターヤスナミ。でも君は後何日で日本だと指おりかぞえていたじゃないか」「いやあれはキャプテンが、毎朝逢うたびに、後何日だなあといったんでしょ」「イヤイヤ、君はやはり待ちこがれていたぞ」二人のなごやかな会話を聞いているとひしひしと国境をこえた人と人の和の美しさがじかに肌

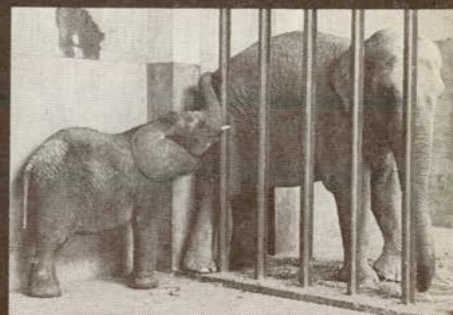
に感じられた。「人情はすばらしいと思いました。コペンハーゲンというと、映画ぐらいでしかみてないでしょ。それが現実この目でみたのですからやはり美しかったですね。陸地をはなれて二カ月目にチャールミングで美しい北欧の女性をみますと、心ならずもポツとしますよ。キャプテンは大の日本びいきでね。コペンハーゲンにいる間に、キャプテンの家やクルーの家に招待されましたが、キャプテンの家は芝生のひろい庭に八重桜が美しく咲いていました。チャールミングな夫人がとても親切にもてなしてくださって……」キャプテン・ニスレブは相変らず安波さんの横顔をみながらニコニコとしている。

やさしい足長おじさんといった感じがピッタリだ。「ミスターヤスナミがこのア号にくると聞いても別に私は特別な扱いはしませんでしたよ。クルーにまかせておいたのです。それは皆の自主性を重んじただけです。日本人は長い伝統で歴史をもった国民だし、私たちのデンマークもまた同じプロセスを経てきている。この伝統がうまくとけあうことを私は信じていた。幸いミスターヤスナミは見事それを立証した。彼のためにも日本のためにも、デンマークのためにもよいことだったと私は喜んでるんだ。ねえ、ミスターヤスナミ、君もそう思わないかい？ 人間的なつながりというものは大きい力だね」ダンスも大好きなキャプテンは、祭日には船上パーティーをひらき彼が一番になってはしゃぎまわるから三十五名のクルーはなごやかで、そのチームワークは抜群だという。キャプテンの好意で日本へア号が入港するとすぐ、安波さんの奥さんと三才になるお嬢さんはこの船に宿泊しているが、安波さんにはなにもものにもかえがたいプレゼントだったろう。そして今宵またデンマークへ旅立つ安波さんだが、その重責の中にも、かたく結びあつた人間愛とフレンドシップのきずなが、彼に新しい勇気と力を与えていることであらう。ミナト・コウベを吹きぬける風にそこはかとなき秋の気配がひしと感じられる午後だった。

(提供神戸銀行)

動物園飼育日記 亀井一成

へ痛いかな? プーラ



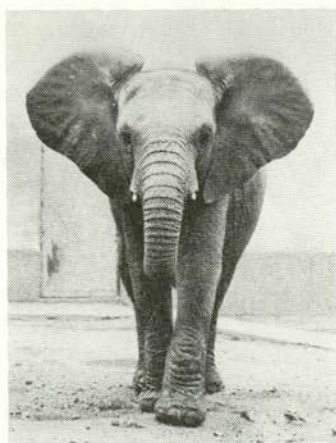
暑いアフリカから、ゾウのプーラがやってきた。一昨年、冬も間近い十月十一日だった。アフリカゾウは、戦後、あるサーカスが一度輸入したが、越冬に失敗して死なせていた。だから、アフリカゾウの飼育は、公立の動物園では、わが国で初めてだった。

それだけに私たちは緊張した。動物図鑑を見ると、オス、メスともに巨大なキバをもち、背たけは三層。性格は粗暴で、臆病なインドゾウとは、まるで違う。こいつはあぶないゾ、と心中その困難を予想していた。最初に計画が狂ったのは、一頭目のゾウが、現地モン巴萨港の船上で死んだことだ。寒さに弱くから四月到着予定で輸入する計画だったのが、そのためおくれ、二頭目が冬へ向けて到着したのである。

その朝、私は同僚より一と足さきに港へ出かけ、生後一年八カ月の子ゾウと対面した。なんとちがうものだ。それまで四十頭近くのインドゾウが神戸港で陸揚げされたが、どのケースにも見られなかった暴れん坊ぶりが、一見してわかった。一度もクサリにつながれたことのないハダカゾウ。鼻とキバでオリをたたきつけるのは当然の行為だが、足元には全く触れさせない。

クレインカーでつり上げるという苦勞を重ねて、オリのまま動物園に入れたのはその翌日。さらに四十日後、オリから出すことになった。最後のボルトをゆるめたとたん、この「少女」は、グイッと押しきるようにおどり出た。背たけ一・五層、牛ぐらいだが、インドゾウの三倍ありそうな大きな耳をバツと広げ、キバと鼻でつき上げて、私たちを寄せつけない荒れようであった。

「クサリなどつけなくてもいいだろう」という意見も多かったが、大事をとってロープとクサリでつないでお



いたのが幸いした。テレビカメラの放列の前で私は一撃を見舞われ、転倒してしまった。みんなが総がかりでロープ、クサリにとりすがり、室内に引きこむにも汗だくの二十分を要したのだ。はたして、このおてんば娘が、なれてくれるだろうか――。

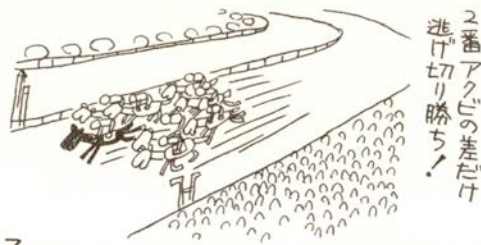
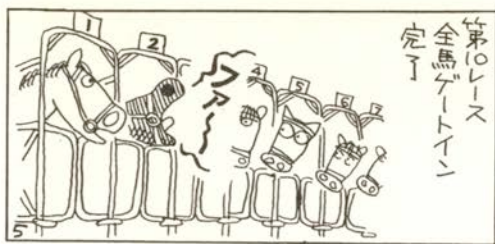
その夜から私は、一撃くらって痛む腰をかめながらミカン、リンゴ、黒砂糖をポケットにしのばせ、彼らの最も不安がる深夜の動物園へ通い始めた。一日も早く体に触れたい。足のクサリのとりかえが自在にできるようならせたい。と同時に、なんとか無事に越冬させたいと考えつめたからだ。冬にはストーブの火加減と、暖かい砂糖湯で腹からぬくめてやるために深夜の通園が日課となった。

どんな動物でも心をつくして接すれば通じるものである。春を迎え「プーラ」と命名されたころにはクサリの必要もなくなり始め、労を共にしてきたM君と私との二人を背中に乗せるまでなれてくれた。そうしたある日、なにが芸事を……と園からいわれ、ついトビロを手にした。たたけばプーラは世にもあわれな悲鳴をあげ、逃げま

どう。その後姿が、私に切ない記憶をよみがえらせた。ほとんど寝食をともにし、出張中は私と寄り添って寝たインドゾウ「マヤ子」のことだ。マヤ子は私のムチによつて碁盤乗り、タル乗り、ラッパ吹きまでこなした。だがその至芸ゆえの出張が過度になり、飼育七年目の十三年八月、ついに死んだ。もし私が、マヤ子に芸を仕こまなかったら、その死もありえなかったろう。現に、マヤ子より半年後に来た無芸のスワ子は元気なのだ。

プーラよ、私はいいたい、どうすればいいんだ？

(神戸王子動物園飼育係「写真も」)



ベツコ

⑨



永井文明



世界の夢と
エスプリをあつめて

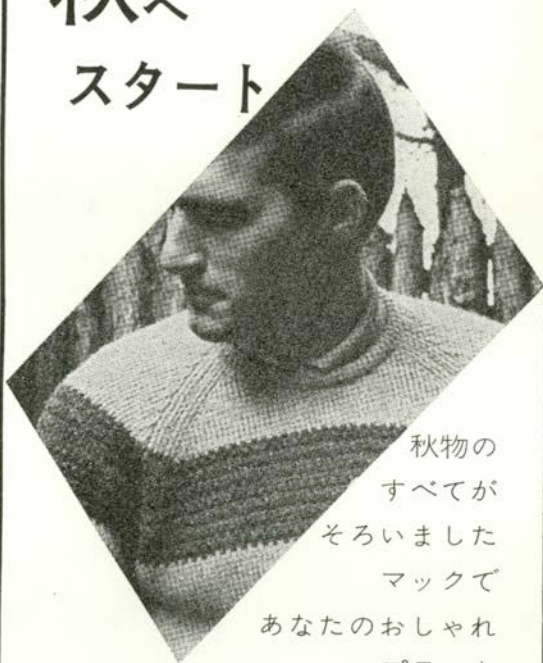
婦人服飾

ベニヤ

三宮センター街 T.(0)5528-9
さんちかタウン T.(0)1204

Beniya

秋へ
スタート



秋物の
すべてが
そろいました
マックで
あなたのおしゃれ
プランを
立ててください

MAC

★三宮本店／神戸センター街 ☎0895 ★トアロード店／セ
ンター街西口 ☎0896 ★新開地店／新開地本通り ☎7688
★姫路店 ★京都店

灯台のあるホテル

—その散策<7>—



オリエンタルホテルで みかけた風景
こんなときの君は男前

バー「マーメイド」で

「ジントニック カナダドライで」

グリルで

「テンダロインのチャーコールグリル ミリアムレア」

スカイレストランの昼

「ローストビーフ、ホースラディユ添えて」

スカイレストランの夜

「ドライマティニとライトリースモークサーモン、アン
トレーはビーフステーキディアネ」

コーヒэшヨップで

「カレーライス、ライス大盛り」

△網代甲子朗▽

(注)

テンダロイン 牛焼肉の名称
チャーコールグリルとは 炭焼きのこと

ミリアムレアは 半生焼き

ホースラディッシュは 洋わさび

ライトリースモークサーモンは オリエンタルホテル自家製の半

くん製鮭

ビーフステーキディアネ 炎をもやしながらサービスするビフテキ

ジントニック 三〇〇円

テンダロインステーキ 一四〇〇円

ローストビーフ 一八〇〇円

ビーフステーキディアネ 一五〇〇円

コーヒэшヨップのカレーライス 二五〇円

オリエンタルホテル

△神戸市生田区京町25 TEL 33-8111▽



神戸・大丸前



神戸・大丸前



京都・藤井大丸



三宮センター街



さんちか・レディスタウン



姫路・やまとやしき

新装

9月1日オープン

Serizawa
MEN'S WEAR LADY'S WEAR

新しく生れ変わった
セリザワ(センター街店)
をご期待下さい!

9月1日/オープン

舶来プレタポルテを中心
にした中2階売場に加
えて新しくサロン風な
よりデラックス調の
■2階売場■を
新設いたしました。

紳士服飾・婦人服飾

セリザワ

三宮センター街/TEL 39-4624

神戸・大丸前/TEL 33-3900

神戸・大丸前/TEL 39-1695

さんちかレディスタウン/TEL 39-4626

京都・藤井大丸/TEL 23-8181

*マドモアゼル・コウベ(10月)

秋のコットン・ツーピース

福 富 芳 美

すわ山の坂道に秋の静かな木もれ陽が
ちらちらと揺れる。

白と黒のビケ風におられた

厚手のコットンチュエックのツーピースにも

山風が吹くごとに光りが踊ります。

今年はコットンが再認識。

はつきりしたチュエックをデザインの

ポイントにして、後身頃から袖、前身頃の

ヨークまで一枚つづきに裁つたもの。

スカートのプリーツには、奥からバイヤスに

つかったチュエックが楽しく、

ヨークのポケットや、黒いボタンのアクセント

がパチツときいた若々しいツーピース。

明るい秋の陽ざしのなかでは

厚手のコットンをきこなすことが

非常にしやれた感覚です。

写真よりも3-5cm短かく、ヒザツ小憎を見せると

少しエレガントな感じが、ぐつとスポーティに

現代モードのシルエツトが強調できるのでしよう。

*10月のマドモアゼルは人見富美子さん。

長い黒い髪、大きな美しい瞳、スラリとした肢体の
クラシックなお嬢さんです。

親和高校から同志社大学家政科を卒業して

目下、トア・ロードの中国人の洋装店で

洋裁の勉強中。仕立ての上手い中国人の店では

実力がつくよう、きこなしも

人見さんらしい個性的なおしゃれをしています。

お茶やお花と稽古も忙しいそうなお人見さんは

一見きやしゃな感じだけれどしんのある神戸っ子です。

小さなおしゃれ

*ドレスの共布を使って――

出来あがったドレスの残り布を

バッグのマチや脇布

手をさげるところなどにつかって

普段もちのバッグを作るのも

しやれたもの。ただしチュエックとか

変ったプリントの時だけに

限ります。



mademoiselle
kobe



六甲の山々が
神戸っ子をまねく秋
登山口の〈阪急六甲南口〉
喫茶店“し。”は
山の自然な暖かさと
静かさを漂よわせた店で



喫茶と洋菓子

エル

阪急六甲南口〈六甲ビル〉
TEL 87-2638

CLUB

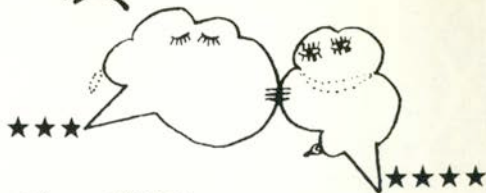
落

の姉妹店です

清水よし子
神戸生田区下山手通2丁
TEL 39-1515



髪



愛の花妖

喜びにあふれる胸に

黒く長い髪が

たをやかにさがる。

水色の花が二輪。

細い三つ編みのシニヨンで

花嫁の冠のように

ゆいあげたお色直しの清楚な

ヘヤースタイルです。

西野 明 (ヘヤーデザイナー)





DONQ

フランス菓子 コーナー

10月

クロケット・ド・マロン

Croquettes de Marrons

★材料

むき栗	200g	全卵	2個
砂糖	300g	パンコ	少々
牛乳	360cc(約2合)	あんずジャム	少々
天ぷら油	適量	めりけん粉	少々
バニラ	少々	ブランデー又は	
卵の黄味	2個	ウイスキー	少々

★作り方

しぶ皮をむいた栗を砂糖とバニラを加えた牛乳で煮て水気をきってつぶし、あたためてかわかします。それに卵黄2個を混ぜあわせてかわかしてそれを小さなボール型にまるめてめりけん粉の中ころがしそれにかきたての全卵を全体にぬります。それにパンコをまぶして、天ぷら油であげます。お皿に盛り合せてあんずのジャムをブランデー又はウイスキーで薄めたものをソースにしてかけるとクロケット・ド・マロンは出来上りです。

フランス菓子

本店	三宮センター街	TEL 09 5481~4
さんちかメイソンドク		TEL 09 4879
芦屋店		TEL (2) 5137
ザンドウイッチバーラー		TEL 09 5485
フランスパンコーナー		TEL 09 4985
須磨寺店		TEL 01 8752
魚水店		TEL 01 3603

※ドンクすずらん会では毎月フランスケーキの作り方を教えています。気軽にご入会ください。